



三中だより

2025年6月27日

6月号

調布市立第三中学校

「優しさが広がる三中に」

校長 児山 友美

6月は「ふれあい月間」です。人と人とのつながりを大切にすること、自分の気持ちや相手の気持ちに目を向けることを改めて考える期間です。自分の気持ちを伝えるときの言葉の選び方は、とても大切です。「ありがとう」「助かったよ」「ごめんね」という短い言葉でも相手に気持ちが伝わり、よい関係がつかれます。逆に自分にとっては何気ない言葉でも、相手を傷つけてしまうことがあります。ふざけただけだと思っていても、相手が苦痛だと感じたら、それはいじめです。いじめは、どんな理由があってもいけないことです。改めて「相手の気持ちを想像してから伝える」ことを意識してほしいと思います。

また、自分が「つらいな」「苦しいな」「誰かに助けてほしいな」と思うことがあったら、誰かに話してみてください。誰かに話すことで自分の考えが整理されて、楽になることがあります。「こんなことで相談していいのかな」「弱いと思われたくない」「うまく言えない」と思って言えなくなってしまうことがあるかもしれません。でも、「助けて」といえることは弱さではなく、強さです。誰かを頼ることができる人は、自分と向き合い、人とつながる力をもっている人です。SOSの出し方には、いろいろな方法があります。話すことが苦手なら、メモに書いて渡すのも一つの方法です。「ちょっと聞いてほしい」「最近元気が出ない」など、自分の気持ちを少し言葉にするだけでも、扉は開いていきます。そして、友だちの変化にも気付ける人でいてほしいと思います。いつもと違うなと思ったら、「大丈夫?」「何かあった?」と声をかけてあげてください。それだけで救われることがあります。「ひとりで悩まない」こと、そして「誰かのSOSに気付ける人」であること。これをみんなで意識して、優しさが広がる三中にしていきたいと思います。

運動会を開催しました

6月2日に運動会を開催しました。前週からの雨天順延を受けての開催となりましたが天候にも恵まれ、生徒全員が練習の成果を存分に発揮することができました。

1年生は入学以来初めての大きな行事となりました。2年生は昨年とは違う競技に何度も作戦を練り直して臨みました。3年生は学校生活最後の運動会となりその結果に大きな歓声が上がる場面もありました。

各クラスとも全力で競技に取り組む姿が印象的でした。優勝したクラスは以下の通りです。

1年 4組 2年 1組 3年 2組 敢闘賞：8組

運動会当日は多くの保護者の方々に観戦のため来校いただきありがとうございます。



8組・多摩特研球技大会

6月20日に8組生徒がバスケットボール大会に出場しました。学校での授業で練習を重ね当日を迎えました。4チームを組み対戦に臨みましたが見事入賞を果たしたチームもあり各チーム一人ひとりが大いに活躍しました。



学校運営協議会を紹介します

今年度より新たに学校運営協議会が発足しました。これまでの「開かれた学校」から「地域とともにある学校・コミュニティスクール」を目標として保護者の方や地域住民の方々にも積極的に学校運営に参画していただき、より魅力ある学校を作り上げていく制度です。

今年度は以下の方々に委員となっただき学校と協議を重ね「地域とともにある三中」を目指していきます。

早坂 寿晃さん 北川原 敦子さん 野口 周一さん
藪内 幸子さん 大槻 昌美さん 児山 友美（校長）